

# わたしのまちの Yamaguchi City 上下水道

わたしのまちの上下水道 vol.2

令和6年8月 日発行

山口市上下水道局

第2回目では、上下水道事業の経営状況と今後の見通しをお伝えします。



## 前回の おさらい

今後、上下水道ともに使用人口の減少が続くと考えられ、それに伴い、事業運営の財源となる使用料収入も減少することが見込まれます。このため、将来にわたって安全な水道水の供給や適切な汚水処理を行うために、**施設の管理や更新に要する費用をどのように確保していくかが課題**となっています。

## 山口市の経営戦略

### ▶▶ 経営戦略について

将来にわたって安全な水道水の供給や適切な汚水処理を行うため、**経営戦略**を策定し、計画に基づいた効率的な事業運営に取り組んでいます。

経営目標と10年間の取り組みの計画や、50年～100年の中長期的な視点での財政見直しを行っています。

### 山口市水道事業 経営戦略

(山口市水道事業ビジョン)

〔水道事業 / 簡易水道事業〕

令和5(2023)～令和14(2032)年度



令和5(2023)年3月  
山口市上下水道局

### 山口市下水道事業 経営戦略

〔公共下水道事業 / 簡易集約排水事業 / 遠隔集約排水事業〕

令和5(2023)～令和14(2032)年度



令和5(2023)年3月  
山口市上下水道局

※経営戦略は、上下水道局ウェブサイトに掲載しています。

### ▶▶ 取り組み例 ～老朽化施設の更新～

水道事業の施設(建物や水道管等)の多くは昭和50年代後半以降に作られ、**更新期が到来**していることから、**施設の老朽化に伴う更新需要が増大**しています。計画に基づいた更新を進めています。

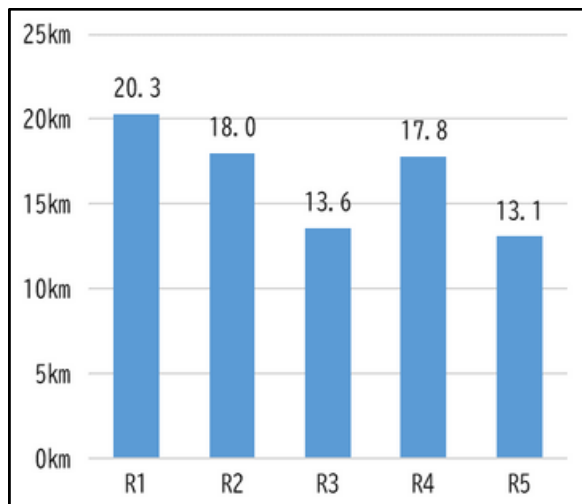


▲配水管からの漏水

管路の破損による断水を防ぐため、古い管を更新する必要がありますよ。



### 水道管の更新延長 (水道事業)

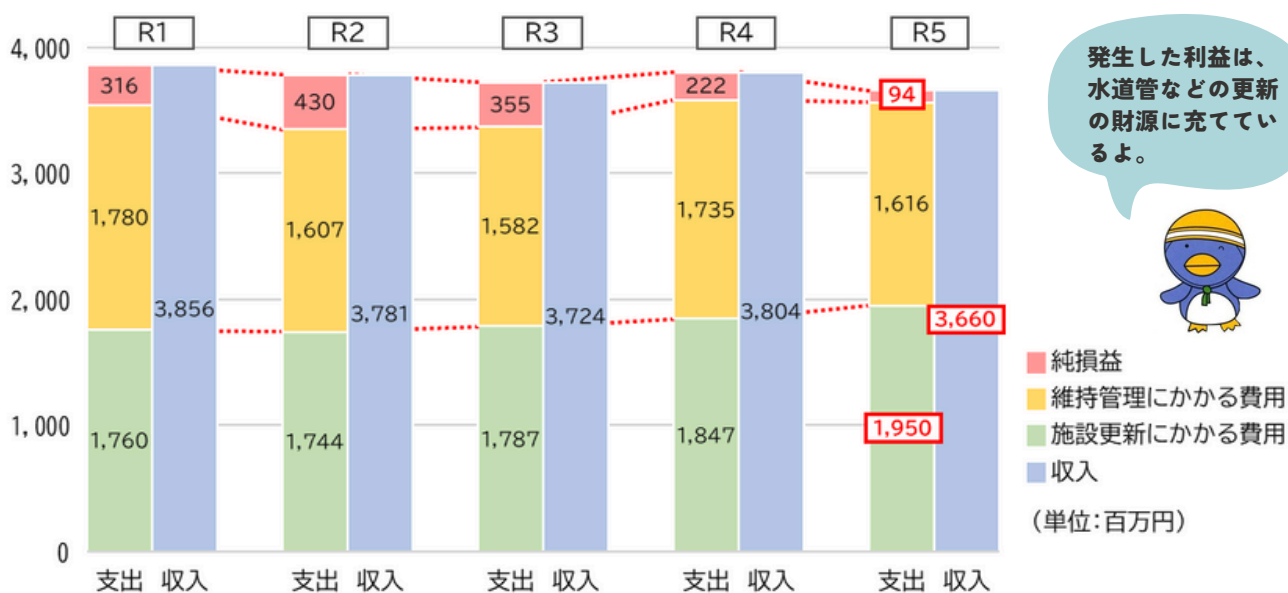


▲水道管の更新について、10年間で180km行うことを目標とし、毎年更新を進めています。

## 近年の経営状況

使用人口が多い水道事業と下水道事業について、直近5年の経営状況を説明します。

### ▶▶ 水道事業の収支



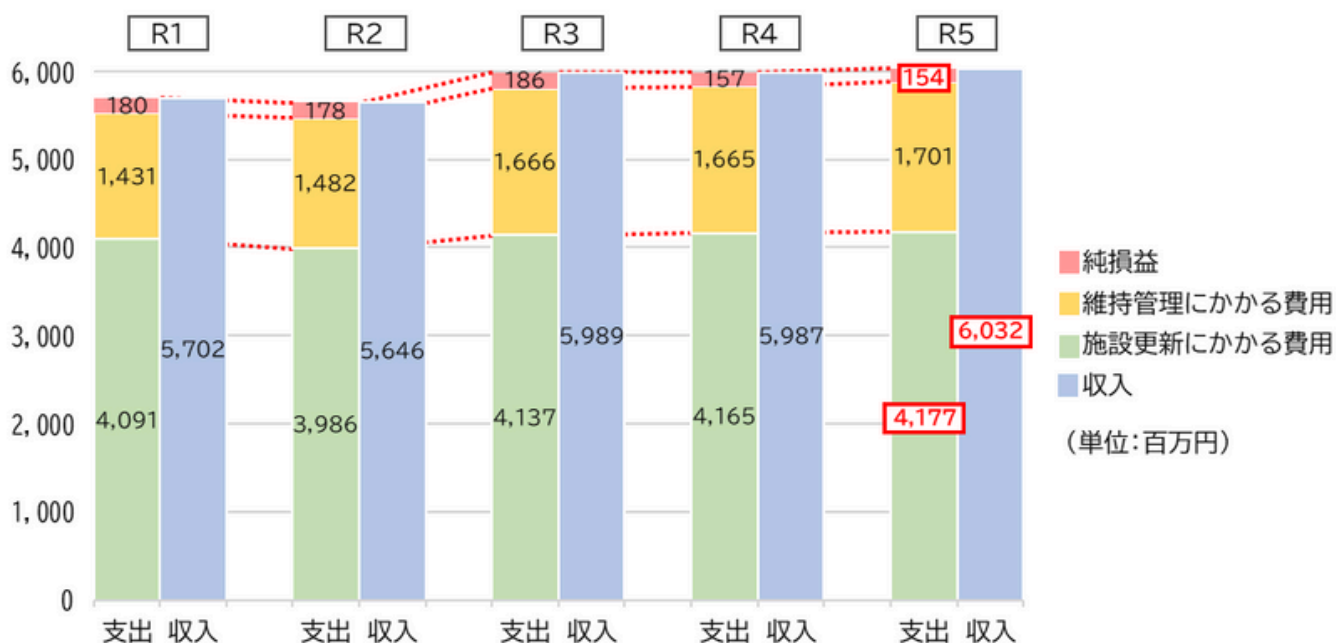
発生した利益は、水道管などの更新の財源に充てているよ。



収入は人口減少の影響を受け減収傾向にあります。支出は老朽化した水道管等の更新を進めているため、施設更新にかかる費用が5年間で約2億円増加し、また維持管理にかかる費用についても物価上昇の影響により増加しています。令和5年度は約9,400万円の利益が発生していますが、平成17年度の市町合併以降で最も低い額となりました。

### ▶▶ 下水道事業の収支

※令和3年度に、宇部・阿知須公共下水道組合の解散により阿知須処理区の事業を引き継いでおり、過去との単純な対比はできません。



収入は人口減少の影響受けながらも、未普及地域の整備に伴う新規接続により減収は抑えられています。支出は物価上昇の影響により増加傾向にあり、純利益は徐々に減少する傾向にあります。



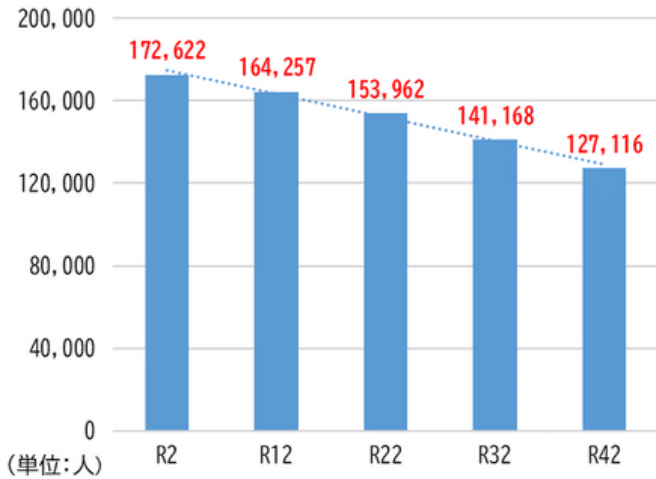
## 将来の見通し

これからの経営状況をどのように捉えているか、将来の見通しを説明します。

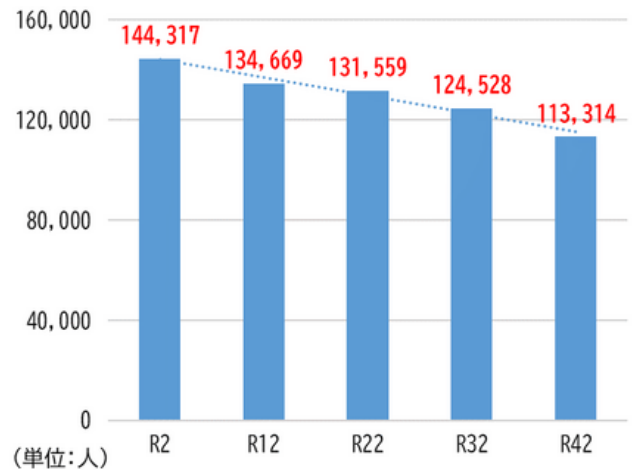
### 人口推移

※経営戦略改定時（令和4年度）の試算値

給水人口推計（水道事業）



全体計画区域内人口推計（公共下水道事業）

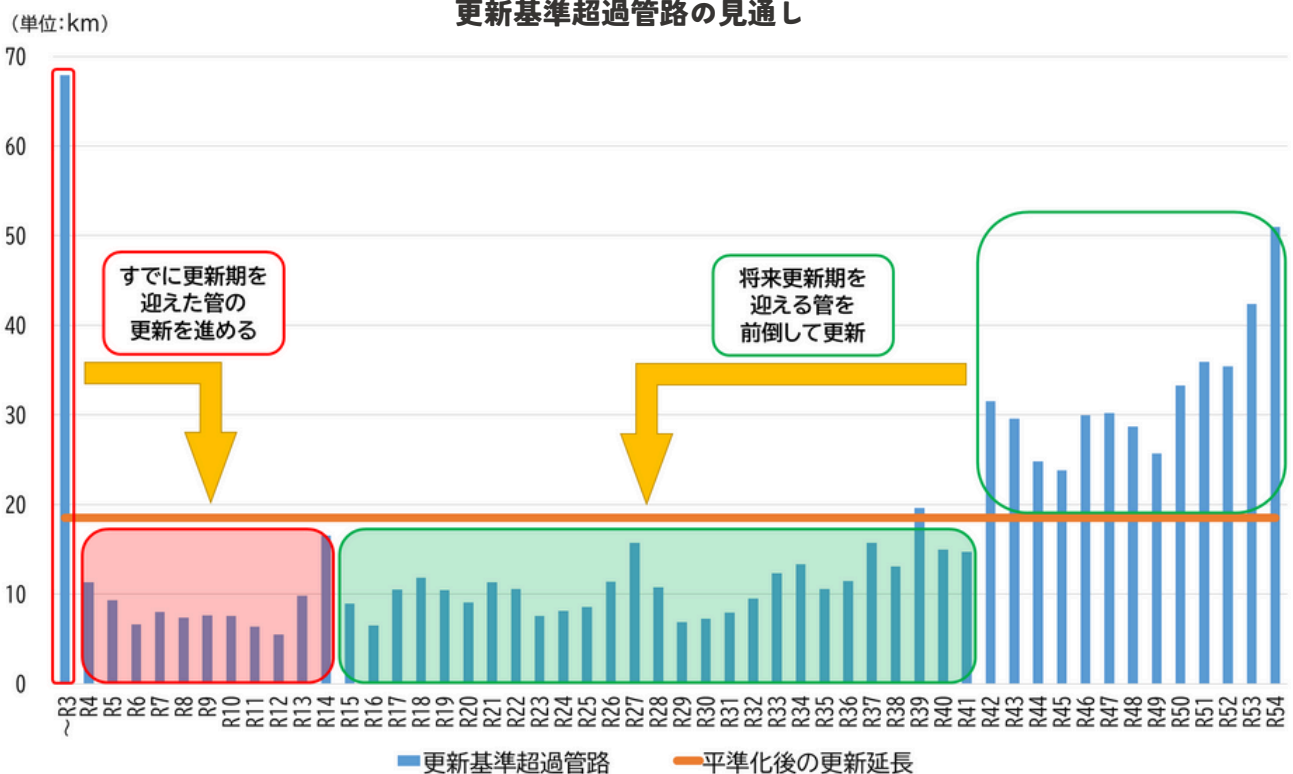


水道事業の給水人口は約40年後に約26%の減少を見込んでいます。公共下水道事業の全体計画区域内人口は、未普及地域の整備区域の拡大による対象人口の増加を踏まえた上で、約40年後は約21%の減少を見込んでいます。

### 水道管の更新（水道事業）

※経営戦略改定時（令和4年度）の試算値

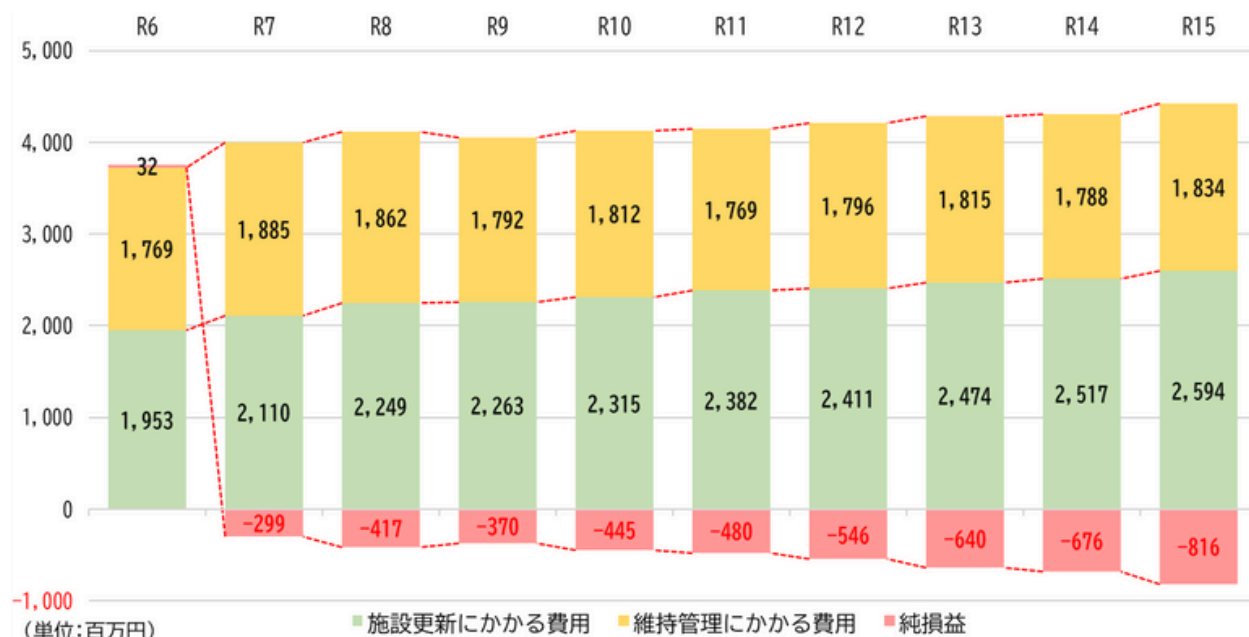
更新基準超過管路の見通し



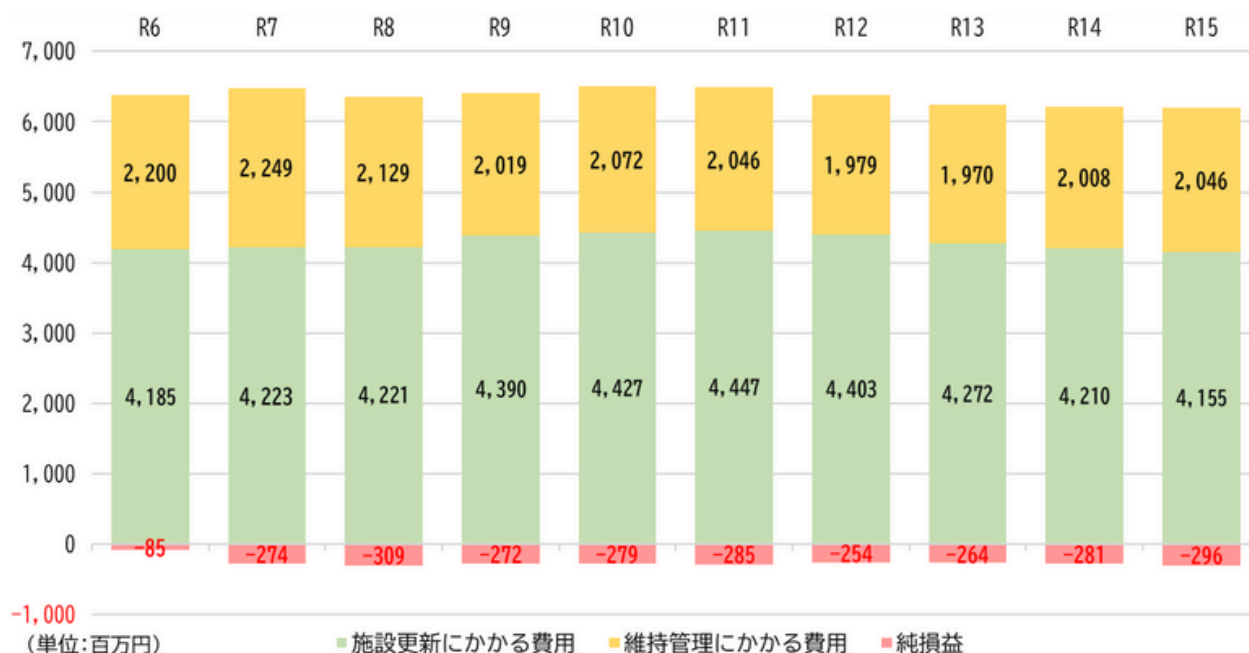
将来にわたって安定した水道水の供給を続けるため、老朽化した水道管について管種や口径ごとに本市独自の基準を設け、計画的な更新を実施しています。今後10年間は、更新基準をすでに迎えた水道管を中心に更新を進めていきます。その後は、令和42年度以降の大規模更新期に備え、前倒して更新を実施し投資を平準化する予定です。

## ▶▶ 今後の財政見通し

### 財政見通し（水道事業）



### 財政見通し（下水道事業）



前ページで説明した影響により、令和6年度以降は収入が減る一方で施設更新にかかる費用が増加する見込みです。また、物価や金利のさらなる上昇により、**損益は赤字に転じる見込みです。**

## 今回のポイント

経営戦略に基づいた効率的な事業運営に取り組んでいますが、人口減少による使用料収入の減少や老朽化施設の更新費用の増加、さらには近年の物価や金利の上昇により、**財政が徐々に圧迫されており、このままでは赤字に転じる見込みです。**こうした厳しい経営環境下においても将来にわたって安全な水道水の供給や適切な汚水処理を継続するため、**使用料の水準や体系の本格的な検討を進めています。**